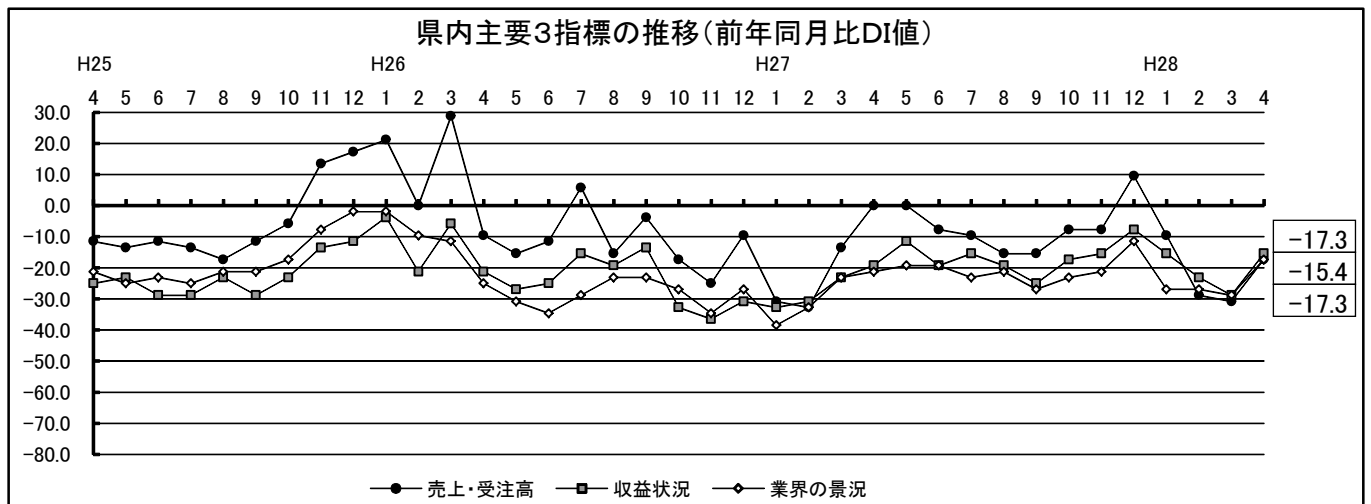


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成28年4月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 4月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」「業界景況」の8指標が上昇し、「在庫数量」が低下した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より13.5ポイント上昇の-17.3ポイント、「収益状況」が13.4ポイント上昇の-15.4ポイント、「業界の景況」が11.5ポイント上昇の-17.3ポイントであった。
- 「売上高」「収益状況」「業界景況」が10ポイント、「販売価格」が5ポイントを超えて大きく上昇した。「在庫数量」は3ヶ月連続で低下したものの、そのほかの指標の低下には歯止めがかかった。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-17.3	13.5	-23.9	-4.4
収益状況	-15.4	13.4	-25.5	-1.5
業界の景況	-17.3	11.5	-29.7	-0.7

売上・受注高

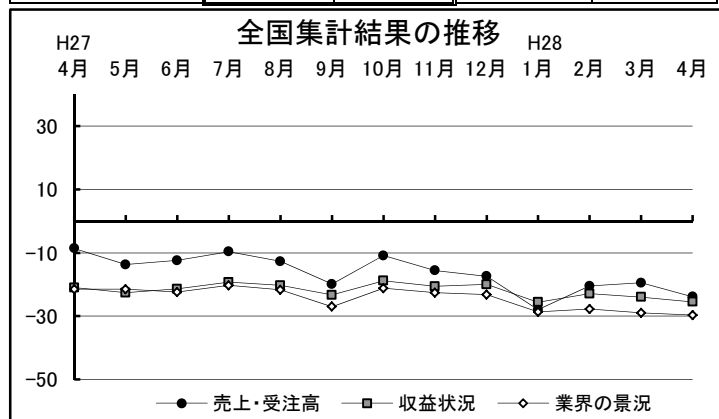
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より13.5ポイント上昇の-17.3ポイントとなった。全国においては、前月より4.4ポイント低下の-23.9ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より13.4ポイント上昇の-15.4ポイントとなった。全国においては、前月より1.5ポイント低下の-25.5ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より11.5ポイント上昇の-17.3ポイントとなった。全国においては、前月より0.7ポイント低下の-29.7ポイントとなった。



概況

4月の前年同月比D I値は、前月の前年同月比D I値と比べて、9指標中「売上」「価格」「条件」「収益」「資金」「操業」「雇用」「景況」の8指標が上昇し、「在庫」が低下した。主要3指標は、「売上」が前月より13.5ポイント上昇の-17.3ポイント、「収益」が13.4ポイント上昇の-15.4ポイント、「景況」が11.5ポイント上昇の-17.3ポイントであった。指標を個別に見ると、「売上」「収益」「景況」が10ポイント、「価格」が5ポイントを超えて大きく上昇した。「在庫」は3ヶ月連続で低下したものの、そのほかの指標の低下には歯止めがかかった。

また、業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中3業種が上昇、3業種が低下し、非製造業で6業種中4業種が上昇、1業種が低下した。「収益」は製造業で3業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で3業種が上昇、1業種が低下した。「景況」は製造業で2業種が上昇、非製造業で2業種が上昇、2業種が低下した。

全国指標では、前月の前年同月比D I値と比べて9指標中2指標が上昇、6指標が低下した。熊本地震の余波が九州地方を中心に中小企業の利益期待・機会を押し下げているほか、全国的な有効需要の減退による景気の下振れリスクが高まっている。円高傾向が継続することから輸出関連の製造業を中心に競争力低下を懸念する声もあがっており、内需・外需ともに企業経営における先行き懸念は大きい。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	×	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	△	△	△	△	×	△	△	△	×
木材・木製品	○	○	△	△	○	○	△	△	△
印刷	×	△	×	△	×	△	△	△	×
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	×	×	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	×	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	○	△	△	△	○	△	△	△	△
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
印刷	×	△	×	△	×	△	△	△	×
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	×	×	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	×	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△25.0	△5.0	△0.0	△0.0	△0.0	△5.0	×0.0	△5.0	△0.0
繊維・同製品	△50.0	△5.0	△25.0	△0.0	△50.0	△0.0	△0.0	△0.0	△5.0
木材・木製品	×25.0	△50.0	△25.0	△5.0	×25.0	△0.0	×25.0	△5.0	△5.0
印刷	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0	—0.0	△0.0	△0.0
窯業・土石	×50.0	△5.0	△0.0	△0.0	×25.0	×0.0	△50.0	△0.0	×0.0
鉄鋼・金属	△0.0	△25.0	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0	—0.0	△0.0	△0.0
一般機器	△75.0	—0.0	△0.0	△0.0	△50.0	△0.0	△50.0	△0.0	△25.0
卸売業	△33.3	△33.3	△0.0	△33.3	△33.3	△0.0	—	△33.3	△33.3
小売業	△57.1	△28.6	△28.6	△28.6	△42.9	△42.9	—	△0.0	△57.1
サービス業	△16.7	△16.7	△16.7	△0.0	△16.7	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0
建設業	△20.0	△0.0	△0.0	△0.0	△20.0	△20.0	△0.0	△0.0	△20.0
運輸業	△25.0	△0.0	△0.0	△0.0	△25.0	△0.0	△0.0	△0.0	△25.0
その他	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0
小計	△22.2	△10.0	△11.1	△11.1	△18.5	△14.8	△0.0	△3.7	△25.9
合計	△17.3	△8.6	△3.8	△3.8	△15.4	△9.6	△20.0	△1.9	△17.3

図表3～【指標別DI値の推移】

	H27									H28			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
売上高	0.0	0.0	-7.7	-9.6	-15.4	-15.4	-7.7	-7.7	9.6	-9.6	-28.8	-30.8	-17.3
在庫数量	-8.6	5.7	-2.9	-8.6	0.0	-8.6	-20.0	0.0	-2.9	2.9	0.0	-5.7	-8.6
販売価格	1.9	9.6	7.7	11.5	7.7	3.8	7.7	3.8	7.7	3.8	1.9	-1.9	3.8
取引条件	-5.8	-9.6	-7.7	-3.8	-1.9	-7.7	-1.9	-1.9	-1.9	-3.8	-7.7	-7.7	-3.8
収益状況	-19.2	-11.5	-19.2	-15.4	-19.2	-25.0	-17.3	-15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-28.8	-15.4
資金繰り	-7.7	-11.5	-11.5	-13.5	-11.5	-11.5	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-5.8	-11.5	-9.6
設備操業度	-24.0	-8.0	-20.0	-8.0	-8.0	-16.0	-20.0	-4.0	-16.0	-8.0	-16.0	-24.0	-20.0
雇用人員	-11.5	-13.5	-15.4	-17.3	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-1.9	-3.8	-5.8	-1.9	1.9
業界の景況	-21.2	-19.2	-19.2	-23.1	-21.2	-26.9	-23.1	-21.2	-11.5	-26.9	-26.9	-28.8	-17.3

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	-25.0	25.0
繊維・同製品	100.0	-25.0	25.0	25.0	100.0	25.0	25.0	25.0	75.0
木材・木製品	-25.0	-50.0	0.0	25.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
一般機器	-25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
小計	17.0	0.0	4.0	8.0	17.0	4.0	4.0	4.0	16.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	-33.3	0.0	0.0		33.3	-33.3
小売業	14.3	-14.3	14.3	0.0	28.6	-14.3		0.0	0.0
サービス業	33.3		16.7	16.7	16.7	33.3		16.7	50.0
建設業	-40.0		0.0	0.0	-20.0	-20.0		-20.0	-20.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	50.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	50.0

小計	11.1	-10.0	7.4	0.0	11.1	0.0	0.0	3.7	7.4
合計	13.5	-2.9	5.7	3.9	13.4	1.9	4.0	3.8	11.5

特記事項

情報連絡員報告（平成28年4月分）

所属組合	特記事項
酒類製造業	今年は特定名称酒の中でも純米酒の売れ行きが良く、微量ではあるが売り上げが伸びている。
味そ製造業	売上高は微増している。麴が健康に良いという認識が広まったことが要因であり、特に甘酒の売上が顕著であった。この傾向は持続しそうだが、本業の味噌は若干売上減である。
染色整理業	一部で雇用人員が減少した。また、長期天候の動向が不安である。
外衣・シャツ製造業	7年に1度の大祭・御柱祭があったために注文が増えた。
一般製材業	新年度スタートの4月だが、見積物件数は増えつつあるものの加工に直結する物件が少なく、今後に期待している。
木材・木製品製造業	材料が為替市場の影響を受けて下がってきた。しかし、それを見越して販売価格の値下げ要求が来た。まだ高い価格の材料があるため、収益は悪化した。収益のアップが課題だ。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格、原材料価格の上昇など厳しい経営環境に変わりはない。現在、熊本地震の義援金募集を行っている。被災組合員23社、不明8社となっており、熊本工組の事務局も避難している状況で詳細が掴めない。大分工組でも被災組合員が4社となっている。地震の終息を願わずにいられない。
砕石製造業	平成27年度（4月～3月）の出荷量は、15,630,110トンであった。同年度は最大需要地区である埼玉での需要低迷が顕著となり、昨年同期比5.6%で推移した。
金属製品製造業	円高の影響は現状では表面化していないが、今後は悪影響が出るものと思われる。 ・自動車関連…1次下請は相変わらず好調。2次、3次は企業ごとに好・不調の格差がある。 ・産業用機械…中国経済の失速をまともに受けて受注減少。今後の見通しも予測できない。 当組合では、今年7月よりベトナム人技能実習生を受け入れ予定。
一般機械器具製造業	本年4月の報告は前月とほぼ同様の結果となった。なお、一部で仕入れ価格の下落の報告もあったようだ。
一般機械器具製造業	売上高・収益状況・資金繰り・設備操業度・業界の景況などは大きな変化はない。継続した加工品があるので確実に生産していく。今までの案件が徐々に実を結びつつあるので、確実に受注に繋げて、売上高を上げていくよう計画している。 価格面では、更なるコストダウン要請を受けて厳しくなっている。工程の改善を加速し、加工だけではなく受注から納入までを考え、全工程の見直しを考える必要がある。生産面では、工程改善による効果が出ており、少しずつではあるが稼働率も良くなっている。 雇用について、従業員の平均年齢も高くなってきていることから、技術の伝承を考えて若い社員の雇用も含めて検討しており、新規設備導入も併せて対応中である。
各種商品卸売業	当団体では、例年新入社員を対象とした研修会を開催しているが、過去6年間の受講者数の推移を見ると、平成23年度12名、同24年度9名、同25年度23名、同26年度22名、同27年度23名、同28年度24名と平成25年度以降は22～24名を維持しており、この数年団体内企業の新卒者採用意欲が高まってきていることがうかがえる。 平成28年度新採者の男女別の内訳は、男子21名、女子3名で圧倒的に男子の割合が高かった(女子営業社員の獲得に苦戦したとする企業が数社あった)。

食肉小売業	国産牛・豚肉の相場高が続き、円高により輸入品の価格も上げ基調になっている(外貨建て取引の場合)。消費者の消費も低調である。
各種商品小売業	個人消費はほぼ横ばいだった。小売業は前月よりやや減少した感がある。所得環境の改善・景気の上昇に不安があり、4月は低迷の月だった。
各種商品小売業	3月末～4月末にかけて既存テナントの増床・移動・閉鎖等があり非常に忙しい一月であった。そのような状況下で前年の売上高をクリアするのは難しく、8ポイント近く落としてしまった。 今回のリーシングを前向きに捉え、5月以降しっかりと前年割れ分を取り戻すことができるよう、新規テナントをバックアップしていく必要がある。
花・植木小売業	市場では例年通り、チューリップ、スイートピー、ストック等の春の花の入荷が終わりを迎え、ヒマワリ、芍薬、紅花などの夏の花の入荷が増え始め、一足早く初夏の賑わいを見せた。 月前半は歓送迎会や各種祝い花がよく売れた。後半は、連休での婚礼需要や母の日に向けての仕入れの動きが活発になり、特にトルコキキョウ、芍薬、そしてカーネーション等は出荷が遅れている産地もあり、品薄感から前年と比べ5～10%程の単価高で推移した。
理容業	年度切り替えということで、従業員を新規雇用した店舗もある。
自動車整備業	売上高は前年比で減少しているものの、操業度は上昇しているため、全体的に見るとやや好転の兆しも見られる。
ビルメンテナンス業	人材不足の影響により、緑化・造園等の入札価格は上がっている様子だが、当組合の収益増には結びついていない。
給食センター	平成28年3月末で不採算部門は撤退したが、平成28年4月より弁当の価格値上げと新規の得意先があり、売上高は前年同月比で増加となった。 食材・燃料・水道光熱費の価格が下がっていることや、新調理法で製造した弁当の拡販等コストダウンにより、収益は改善されると思われる。
旅館・ホテル	4月の業況は昨年度同月が思わしくなかった分、中・小規模施設で増加傾向にあった。一方、大規模施設では一部を除いて前年度を下回り、全体ではほぼ横ばいといったところであった。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは89%減、敷物用ラベルは66%減、壁装用ラベルは10%増であった。 平成27年4月～平成28年3月累計では、ラベルの支給枚数、売り上げは好調であったが、本年度4月は内装工事全般にわたり低調となった。5月からに期待したい。
一般貨物自動車運送業	荷物状況は前年同月比で若干落ち込みを見せ、荷主からの適正運賃収受の理解も得られず厳しい状況である。若年ドライバー不足も深刻であり、加えて燃料価格も値上げ傾向に転じ、今後の動向を注視している。
貨物軽自動車運送業	4月に入り、一般貨物の受注量は落ち込み、引越し貨物の需要も一段落した。後半は熊本地震における緊急物資の輸送依頼や、ゴールデンウィークの駆け込み的な緊急品輸送は増大したものの、昨年同月に比べると全体的に受注量は減少傾向にあり、景況感は減退している。
一般乗用旅客自動車運送業	本来なら歓迎会等で繁忙期だが、週末のみで平日の利用は少なかった。
大谷石採石業	貼石関係は前年同月比較ではほぼ同じレベルで推移。積石関係は減少しているが、少し上向きの動きもあるとのこと。